

やまだ

1月～3月は、大切な「準備」期間です。

校長 青木 清美

地域の皆様、保護者の皆様、2022年も当校の教育活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

1月の全校朝会で、「1月～3月は、その学年のまとめの期間であるだけでなく、次の学年、次のステージへの大切な準備の期間である」ことを話しました。

アメリカのメジャーリーグで、特に、2021年大活躍し、いろいろな賞を獲得した大谷翔平選手。大谷選手の活躍と練習を例にして「準備」の大切さを話しました。

山田小学校 6つの目標

- ①反応しながら聞く
- ②伝わるように話す
- ③あたたかい言葉遣い
- ④友だちと協力する
- ⑤運動に燃える
- ⑥体をつくる

2018年～2020年の間に、大谷選手が、右手ひじや左足ひざを手術しました。いずれもリハビリの期間が必要になりました。また、コロナ禍のために、試合ができなくなった期間もありました。

大谷選手はこの期間に、試合に戻るときのために、次のような準備を進めました。

- バットを持つことができない時、バッターボックスに立って、ピッチングマシンの速球に慣れる練習を反復しました。速球に目と体を慣れさせておきました。
- 下半身や体幹を鍛えるトレーニング、地味だと思われるキャッチボール、ティーバッティングやトスバッティングといった基礎的な練習をしっかり行いました。
- いろいろな重さのボールを投げる練習を行い、投げる力を伸ばしました。・・・

次に向けた準備を考え、実行したことが、力を発揮し成果を上げることに繋がりました。

【準備 6年生は次のステージへ、1～5年生は次の学年へ進むため】

6年生は、今、卒業までのカウントダウンで、一人一人が「卒業まであと何日」と日数とともに「大切にできる言葉」を書いています。例えば、「雲外蒼天」「継続は力なり」「変わることに恐れるな」……。心構えでも準備を進めています。ほかに準備として次のようなことが考えられます。当たり前のことをきちんとやることも準備です。

- 小学校で学習したことを復習すること。体力を付けること。
- 「すばらしい伝統」を残すように、にじいろ班での活動、委員会活動、卒業に向けたプロジェクトなどで自分のやれることをしっかり行うこと。
- 普段やっていること、例えばきちんと「あいさつ」をする。といったことです。

5年生は、4月から最高学年になります。「6年生に代わって私たち5年生が山田小学校を引っ張っていきます」という気持ちと行動で、この期間を過ごしてほしいものです。

- にじいろ班での活動、委員会活動では、6年生の姿から学びましょう。教えてもらうだけでなく、5年生として進んでできることを行うようにしましょう。

1～4年生も同じです。4月にはそれぞれ1学年進級します。そのための準備期間です。